

愛媛大学では大学憲章の中で、学生に対して「主体的な学びを保証する」ことを掲げていきます。学生の主体的な学びを保証するためには、教育に関わる教職員一人一人が、学生の学習に取り組む意欲や行動について理解を深めておくことが重要です。データから現状を読み取ることを通して、教職員それぞれが授業やカリキュラムの中で学生の学習をどのように促すことができるかを考えてみませんか。

興味のある
学問分野があることを
志望理由とした学生

96%^{※1}

学生は愛媛大学で学ぶことに高い期待をもっている

単位修得に不安を抱える学生

入学時 88%^{※1}
1～3年 69%^{※1}
学年末

多くの学生が抱える
学習への不安を授業内外で軽減していこう

履修ガイダンスが
適切に実施されていると
考える学生

68%^{※2}

履修ガイダンスはカリキュラムの意図を
学生に伝える重要な機会となる

1～3年生が1学期で
履修している授業科目

13科目^{※3}

学生が他の授業で
学んでいることに関心を寄せよう

授業に積極的に取り組んだ学生

共通教育 68%^{※2}
専門教育 88%^{※2}

多くの学生は積極的に
授業に取り組んでいる

在学中に
留学した学生 12%^{※2}

在学中に
ボランティア活動を
経験した学生 48%^{※2}

学生が入学時点で
身についていると考える力

文章を読む

81%^{※1}

プレゼンテーション

39%^{※1}

情報の整理

80%^{※1}

説得力のあるレポート記述

35%^{※1}

意見や情報を発信する力を伸ばせる授業のニーズは高い!?

自主的学習スペースが整備・活用
されていると考える学生

71%^{※2}

自主的学習スペースの場所や設備を
教職員も積極的に把握しよう

遠隔授業で
アクティブラーニングの
機会があった学生

69%^{※3}

教員や他の受講生と双方向の
やり取りを行えるのは
対面授業だけではない

遠隔授業の
動画教材を後で
見直した学生

84%^{※3}

遠隔授業も学習
機会の充実
につながっている

第1希望の就職先に内定した学生

72%^{※2}

職業や生き方を考える機会は、
授業の中でも提供できるかもしれない

大学生活について
総合的に満足した学生

84%^{※2}

学内でのさまざまな経験や
学習環境への満足度合いは
学習成果にも影響する

学生の
「学習意欲」と
「学習行動」を
理解する